

新木場でアメリカンフットボール

常務理事 岡田隆夫

2022年アメリカンフットボールシーズンを迎え、社会人Xリーグ3部に所属する三井物産(株)アメリカンフットボール部、三井物産シーガルズが今年から練習拠点の一つとして、東京新木場木材商工協同組合グラウンドを使用する事となりました。

《チームプロフィール》 三井物産アメリカンフットボール部は1972年創部、シーガルズのニックネームは、当時アメリカでベストセラーであった、“カモメのジョナサン”より取り、主人公、ジョナサンの様に常に何かを求め、自己の能力を100%以上発揮することを念頭に置き命名しました。残念ながら商社という環境におかれている為、我々の限界は身近なところにあると言わざるを得ません。だが我々は、勝利の喜びを求め『WE PLAY MORE THAN FOOT BALL』の精神で戦う。

《チームカラー》 ホワイト、ブルー

かつて、私が在籍した当時は、部員も40名近くで、学生オールスターの選手も何人かいて、1977年第2回パールボールトーナメントでは東日本実業団準決勝で当時常勝の(株)ヴァンジャケットと戦い、秋のリーグ戦では1位VAN、2位レナウン、3位が三井物産で1977年の第1試合はVS警視庁第9機動隊戦で、社会人デビュー第1戦目の第1プレーが一橋OBの#8鍋島(三井物産不動産社長)から中大OB#44岡田への10ヤードのショートパスが見事成功、キャッチ直後のヒットで左肋骨にヒビが入るが怪我を隠して出続け何とかレギュラー確保。同期の東大主将、京大副将、一橋、ICU、慶應OBの仲間と奮闘。

グラウンドは府中に三井物産総合グラウンドと府中独身寮が在り、クラブハウスも併設された恵まれた環境で思いっきりアメリカンフットボール生活を楽しみました。

現在は、府中グラウンドは明治大学に売却、殊に今年度は三井物産東京在勤者が18名となり更に三井物産人事部も社会人連盟への登録費のみの支援となり、今や存続の危機に瀕しております。

日本におけるアメリカンフットボールの起源は1934年、立教大学にポール・ラッシュ教授が赴任、立教・明治・早稲田の3大学にアメリカンフットボール部が創部、同年東京学生連盟が設立。1934年11月



ヘルメットに貼るデカル



1977年の三井物産ユニフォーム

29日に横浜で初めて日米戦が開催され、上記の3大学からの選抜された全日本が横浜カントリーアスレチックと2万人の観衆で対戦。

この時の全日本の立教タックルの加藤氏は当組合の(株)森芳商店の森本敏雄社長の実父。

翌年から慶應・法政が参加し5大学によるリーグ戦が始まった。初代チャンピオンはハワイ2世留学生主体の明治大学が制した。戦後は東京6大学に圧倒的な戦力と集客力を誇る日本大学を加えた東京7大学として学生アメフト界をリードし他大学にも続々とチームが誕生し、2022年現在は約100大学によるリーグ戦が行われ、甲子園BOWLを目指してしのぎを削っている。

簡単にアメリカンフットボールについて紹介します。(出典：関東学連「楽観」抜粋)

○陣取り合戦の格闘技

フットボールは、それぞれ11人編成のチームが戦うゲームです。野球と同じように、攻撃と守備にはっきり分かれています。攻撃側は、相手をブロックしながら、ランやパスによって相手の陣地にボールを持ち込んだり、キックしたりして、得点しようとします。守備側は、そうはさせまいと体を張ってタックルしたり、パスを奪おうとしたりして得点させないようにします。こうして陣取り合戦が展開されますが、その間には格闘技といってもいいくらい激しい体のぶつかりあいがあるのです。

○ゲームの進め方

フットボールでは、攻撃権を得たチームに4回の攻撃権が与えられます。ちょうど野球が3アウトまで攻撃できるのに似ています。4回以内の攻撃で10ヤード以上ボールを進めると、新たな攻撃権が与えられます。これをファーストダウンの獲得と言います。これを繰り返すことによって相手のエンドゾーンまで行き得点となるわけです。もし、4回で10ヤード以上進めなかった場合は、相手に攻撃権が移ります。これも野球の3アウトチェンジと同じです。

○選手交代は自由

選手の交代は全く自由なので、プレー中でない限り、何人でも何回でも交代することができます。攻守が入れ替わった場合はもちろん、キックする場合にチームのメンバーがそっくり入れ替わってしまうことも珍しくありません。

○試合時間

試合は、正式には15分を1クォーターとして、4つのクォーター(1時間)で行われますが、日本ではボウルゲームを除き、試合会場等の都合により、1クォーター12分で行うことが多いです。それでも1試合が2時間ほどかかるのは、時計が止まることが多いからです。



1977年 IBMのパドル風景



1977年 朝日生命戦勝利後

○長さの単位

フットボールで使う長さの単位はヤードです。1ヤードは約91.4cm。だいたい大きく踏み出した1歩の長さです。フィールドの長さは100ヤード、幅は53.33ヤード、エンドゾーンは10ヤードのゼブラゾーンです。

○アメリカンフットボールのボール

ボールは、ラグビーボールよりひと回り小さく楕円形です。普段は皮でできたものを使いますが、雨の時はゴムのものを使うこともできます。

○ジャージの下の秘密

フットボールでは、激しいぶつかりあいがあるので、防具の着用が義務付けられています。ポジションによって違いはありますが総重量は4kg以上。これをつけて走るわけですから、選手には相当な体力が必要です。

以上が簡単な概要です。

フットボール綱領(抜粋)

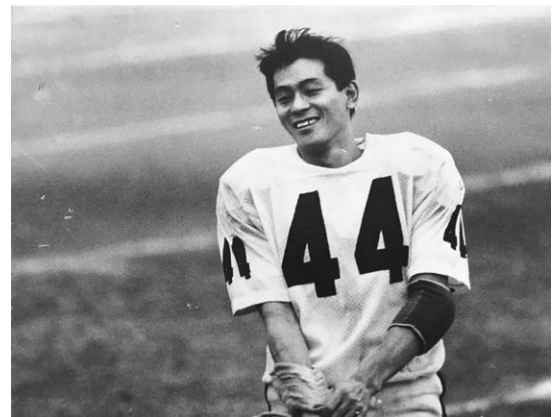
伝統的に、フットボールは教育活動の重要な一環を担っている。フットボールは激しく、力に満ちた、身体をぶつけ合うスポーツである。それゆえ、プレーヤー・コーチ・その他の試合関係者に対しては、最高のスポーツマンシップと行動が要求される。不正な戦術、スポーツマンらしくからぬ行為、故意に相手を傷つけることは絶対に許されない。

アメリカンフットボールに関わるプレーヤー・スタッフ・指導者はルールブックの1頁目の上記のフットボール綱領を学び、綱領に則った行動が求められる。

ここまで、簡単に三井物産シーガルスとアメリカンフットボールについて御紹介しました。アメリカンフットボールは誰でも適材適所に配されてプレー出来、高度な戦術と戦略を駆使して戦うスポーツです、是非、組合員の皆様に土・日に新木場商工グラウンドに足を運んでアメリカンフットボールに直接触れて頂ければ幸いです。機会が在ればもっとアメリカンフットボールの魅力について御紹介したいと思います。



1977年 朝日生命戦勝利後



1977年 東日本選抜選決定時

2022年9月8日